

平成15年度 予算の主な使い途をお知らせします

4月1日号では、平成15年度の当初予算と市長の施政方針をお知らせしました。今号では、市の主な事業をあげ、その予算の使い途をお知らせします。

安心のまち 蒲郡

こころ豊かな教育の充実

学校施設の耐震補強工事 および改修工事

学校施設の地震災害対策として、体育館の耐震補強工事を進めていきます。

今年度は、西浦小学校体育館の耐震補強工事および蒲郡東部小学校・大塚小学校体育館の耐震診断と実施設計を予定しています。

また、新たに校舎の耐震化を図るため、蒲郡中学校と中央小学校の中央棟の耐震診断と実施設計を行います。施設が古くなってきた塩津小学校のプールも改修していきます。

新学校給食センター建設事業

老朽化している東西の学校給食センターを統合し、三谷町地内に調理能力1万食の新学校給食センターの建設に取りかかります。

本年度は、本体工事・諸設備工事・厨房機器設置工事を行います。平成16年度で、備品、強化磁器

食器などの購入、外構工事、太陽光発電設備の設置をします。

新学校給食センターの稼働は、平成16年度の2学期を予定しています。

ブックスタート事業開始

乳児を持つ親が子どもに絵本を読んで聞かせる「読み聞かせ」を通して親子のふれあいを深め、情感豊かな子どもに育てることができるよう支援するとともに、将来にわたって読書活動の推進と健全な青少年の育成に寄与するため、4カ月児健診を受診する子どもと親に絵本を贈呈します。

司書教諭補助員の配置

図書の貸出業務、読み聞かせ、読書意欲を高める読書環境の整備、蔵書の整頓や修理など、司書教諭および図書主任の業務を支援する補助員を小中学校に配置し、学校図書館の充実を図ります。

適性指導教室「あすなる教室」 指導補助員の配置

「あすなる教室」に指導補助員を配置します。あすなる教室指導員のもと、本教室に通う不登校

児童生徒一人ひとりに合った、きめ細かでより安全な指導を行い、学校への復帰を支援します。

少子・高齢化社会に対応 した福祉施策の充実

(仮)ちゅうぶ児童館建設準備

蒲郡市では、平成6年度から市内7中学校区にそれぞれ1つの児童館を建設してきました。

現在、6児童館が開館しており、児童の遊び場として、また、子育て支援の役割も果たす児童健全育成の中核施設として活用されています。7番目の中部中学校区の児童館については、早急に建設地を選定し、建設にむけての準備作業を行っていきます。



▲平成14年に開館した「にしうら児童館」